

第89期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで



SHINKO

新光電気工業株式会社

証券コード6967

株主の皆様には、平素よりひとかたならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。第89期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

倉嶋 進



2023年度中間期の業績について

当中間期における半導体業界は、需要減少の底打ちが見られるものの、世界的なインフレの継続や米中対立の影響に加え、コロナ特需の反動によるパソコン、サーバー市場の落ち込みや、買い替えサイクル長期化等によるスマートフォン需要の減少、在庫調整などにより、市況回復が遅れ、厳しい環境が継続しました。

このような環境下において、当社グループにおきましては、フリップチップタイプパッケージは、パソコン・サーバー需要の回復の遅れ等により売上が大きく減少しました。リードフレームは在庫調整の影響を受け、半導体製造装置向けセラミック静電チャックは半導体

輸出規制に加え、市況悪化を背景に減収となりました。また、IC組立についてもハイエンドスマートフォン向けの需要が減少するなど、総じて市況低迷の影響を受けました。これらの結果、当中間期の連結売上高は1,051億9百万円（前年同期比33.1%減）となりました。利益面につきましては、売上高減少の影響を大きく受け、経常利益は140億73百万円（前年同期比74.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は97億80百万円（同74.2%減）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株当たり25円とさせていただきます。

今後の見通しと取り組みについて

今後の半導体業界は、世界的な景気減速や半導体輸出規制の影響ならびにパソコン、スマートフォン等の需要低迷や在庫調整の長期化などにより、市況の本格的な回復には時間を要することが見込まれます。一方、社会・経済のデジタル化によって、今後も半導体の需要は中長期的に拡大することが想定されます。

当社グループは、このような状況に対応するため、全社において一層の生産性向上、コストダウン等の取り組みを強化するとともに、積極的な受注活動を展開することにより、売上確保をはかってまいります。また、当社製品・テクノロジーの中長期的な市場拡大の可能性を的確に捉えるべく、成長市場向けの設備投資・技術開発を着実に実行してまいります。フリップチップタイプパッケージについては、サーバー向け等の高性能半導体の市場拡大に対応すべく、2024年度操業開始予定の千曲工場（長野県千曲市）の整備等に注力してまいります。セラミック静電チャックについては、本年度より稼働予定の高丘工場（長野県中野市）新棟の整備を進めるほか、新井工場（新潟県妙高市）におきまして、半導体メモリーの高速化・大容量化に対応するプラスチックBGA基板向けに新棟の建設計画に着手するなど、半導体の高性能化に寄与する当社製品のさらなる市場拡大を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

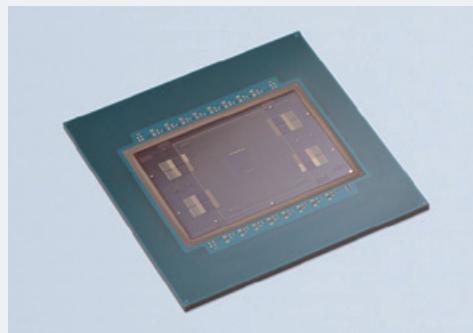
2023年11月

トピックス

先端半導体向けの設備投資について

当社は、今後さらなる需要拡大が見込まれる成長市場向けに設備投資を重点的に実施しています。当社主力製品フリップチップタイプパッケージの新拠点となる千曲工場においては、当社開発の「i-THOP® (integrated Thin film High density Organic Package)」をはじめとする先端半導体向け次世代フリップチップタイプパッケージの市場投入をはかるため新たな設備投資を計画しております。この計画は本年6月に経済産業大臣により経済安全保障推進法に基づく「供給確保計画」に認定されました。

当社は、大型化、高多層化、高密度微細配線技術により、従来の性能を大幅に上回る次世代製品の量産体制を千曲工場に構築することにより、半導体関連産業の発展やGX（Green Transformation）の実現等、より豊かな社会づくりに貢献してまいります。



i-THOP®

i-THOPは新光電気工業㈱の登録商標です。

〔連結〕

■ 売上高

(億円) ■ 中間期 ■ 通期



■ 経常利益

(億円) ■ 中間期 ■ 通期



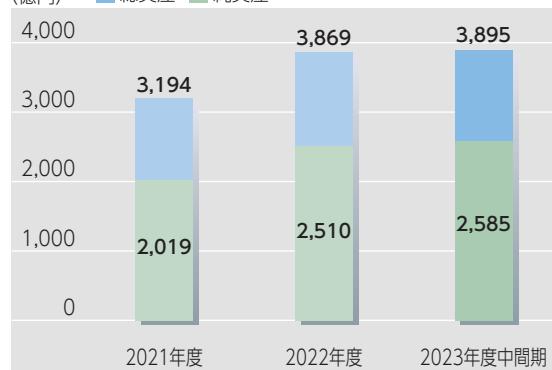
■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(億円) ■ 中間期 ■ 通期



■ 総資産／純資産

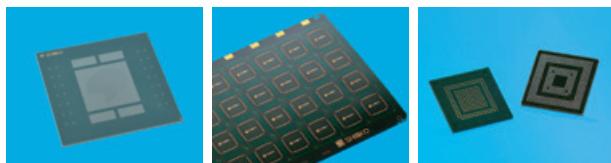
(億円) ■ 総資産 ■ 純資産



セグメント別の状況

Summary of Operations by Segment

プラスチックパッケージ



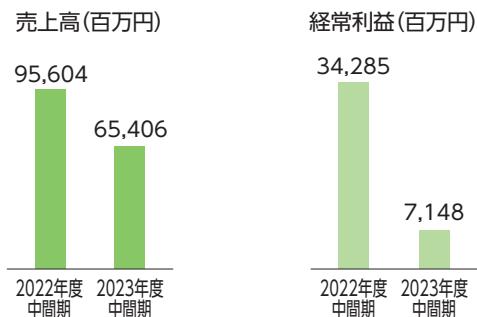
フリップチップタイプ
パッケージ

プラスチック
BGA基板

IC組立

フリップチップタイプパッケージは、コロナ特需の反動などによるパソコン・サーバー需要の回復の遅れ等により、大幅な減収となりました。IC組立はスマートフォン市場の低迷によりハイエンドスマートフォン向けの需要が減少し、プラスチックBGA基板は先端メモリー向けが在庫調整の影響を受けるなど、売上がそれぞれ減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は654億6百万円（前年同期比31.6%減）、経常利益は71億48百万円（同79.2%減）となりました。



メタルパッケージ



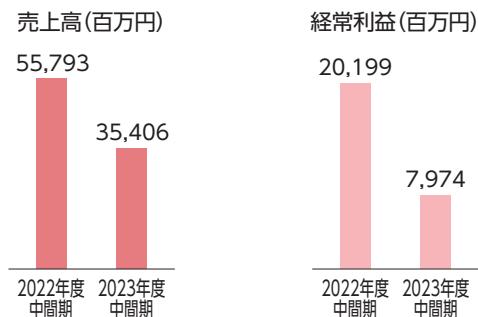
プレスリードフレーム

セラミック
静電チャック

ヒートスプレッダー

リードフレームは、半導体市況低迷による在庫調整等の影響を大きく受け、半導体製造装置向けセラミック静電チャックは、米中対立による半導体輸出規制の影響やメモリー市況悪化などを背景として、それぞれ大幅な減収となりました。また、CPU向けヒートスプレッダーは、パソコン需要減退等の影響を受け、ガラス端子は光学機器向けが低調に推移し、それぞれ売上が減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は354億6百万円（前年同期比36.5%減）、経常利益は79億74百万円（同60.5%減）となりました。



決算概要 (連結)

Financial Statements(Consolidated)

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2023年9月30日現在)	前期 (2023年3月31日現在)
資産の部	389,575	386,934
流動資産	200,670	226,075
固定資産	188,904	160,858
有形固定資産	182,257	154,068
無形固定資産	999	876
投資その他の資産	5,647	5,912
資産合計	389,575	386,934

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2023年9月30日現在)	前期 (2023年3月31日現在)
負債の部	131,034	135,919
流動負債	128,758	133,545
固定負債	2,276	2,374
純資産の部	258,541	251,014
株主資本	258,668	252,205
資本金	24,223	24,223
資本剰余金	24,222	24,173
利益剰余金	210,285	203,882
自己株式	△ 61	△ 74
その他の包括利益累計額	△ 127	△ 1,190
負債純資産合計	389,575	386,934

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	前中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
売上高	105,109	157,005
売上原価	86,639	98,349
売上総利益	18,469	58,656
販売費及び一般管理費	6,998	7,703
営業利益	11,470	50,952
営業外収益	2,648	3,733
営業外費用	46	36
経常利益	14,073	54,649
特別損失	628	627
税金等調整前四半期純利益	13,444	54,022
法人税、住民税及び事業税	3,338	16,054
法人税等調整額	325	94
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,780	37,873

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	前中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,186	57,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 38,959	△ 31,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,430	△ 3,763
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,390	1,839
現金及び現金同等物の増減額	△ 16,811	24,641
現金及び現金同等物の期首残高	115,592	68,758
現金及び現金同等物の四半期末残高	98,780	93,399

会社の概要

Corporate Data

(2023年9月30日現在)

- 商号 新光電気工業株式会社
- 設立年月日 1946年9月12日
- 本社 長野県長野市小島町田80番地
電話 (026) 283-1000 [代表]
- 主な事業内容 プラスチック・ラミネート・パッケージ、
リードフレーム、ガラス端子、ヒートスプレッダー、
セラミック静電チャックなどの製造・販売、
ICアセンブリ
- 従業員数 4,946名 (連結5,713名)
- 工場等 更北、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬、
新光開発センター、栗田総合センター
- 営業所等 東京、大阪、名古屋、福岡、マニラ

取締役

(2023年9月30日現在)

- 代表取締役会長 藤田 正美
- 代表取締役社長 倉嶋 進
- 取締役専務執行役員 伊藤 明彦
- 取締役常務執行役員 小澤 隆史
- 社外取締役 新美 潤
- 取締役常勤監査等委員 牧野 恭久
- 社外取締役監査等委員 荒木 泉子
- 社外取締役監査等委員 小林 邦一

株式の状況

Shareholders' Data

(2023年9月30日現在)

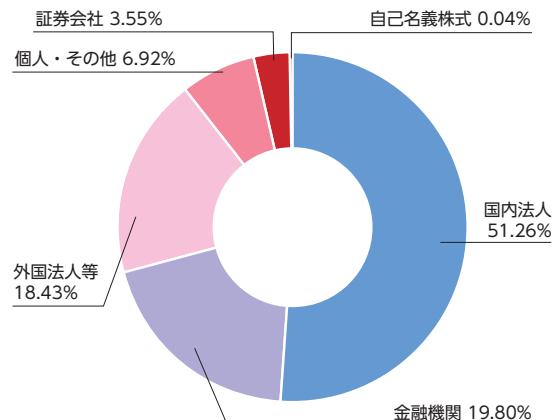
- 発行可能株式総数 540,000,000株
- 資本金 24,223,020,480円
- 発行済株式の総数 135,171,942株
- 株主数 18,776名
- 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	67,587	50.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	12,805	9.48
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	8,296	6.14
MSIP CLIENT SECURITIES	3,009	2.23
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,153	1.59
野村證券株式会社	2,135	1.58
JPモルガン証券株式会社	1,839	1.36
株式会社八十二銀行	1,836	1.36
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,667	1.23
BOFAS INC SEGREGATION ACCOUNT	1,368	1.01

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

(2023年9月30日現在)



株式事務のご案内

■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

■基準日

定時株主総会関係
配当金受領株主確定日

3月31日
3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日

■公告方法

電子公告
当社は、公告を下記ウェブサイトに掲載しております。

<https://www.shinko.co.jp/ir/kk/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金（除斥期間が経過したものを除く。）につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505



新光電気工業株式会社

〒381-2287 長野県長野市小島田町 80 番地
電話(026)283-1000〔代表〕FAX(026)284-8861
<https://www.shinko.co.jp>



JPX日経インデックス400 構成銘柄



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



地球環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。